



# 宮床中だより 「ささくら」

学校教育目標  
「豊かな心を持ち、自らを高め合う生徒の育成」  
ゆたかに たくましく さわやかに

【第11号】 11月30日(月)発行

大和町立宮床中学校  
電話：(346) 2006

## 町制施行60周年事業「夢と希望と志を語る会」が開催されました。



11月26日(木)に「夢と希望と志を語る会」がまほろばホールで開催されました。これは、大和町町制施行60周年を記念し、大和町の将来を担う小中学生が「活力と笑顔に満ちたまち」の実現に向けて、自分たちの夢や希望、志を発表することにより、ふるさと「大和町」への関心を高め、趣旨で実施されました。町内の小学校5年生と中学校2年生全員が参加し、各校の代表者が自分の夢や大和町の未来について発表しました。本校からは、生徒会長の川田あいこさんと生徒会副会長の吉田瀬奈さんが自分の考えを堂々と発表してくれました。後半は、水泳のオリンピック銅メダリストの田中雅美さんの講演を聴きました。内容については彼女の実体験を交えての話で「最初から大きな目標を持つのではなく、目の前の目標をしっかりと実現していくことで、大きな目標が達成できる。」ことや「人と人とのつながりを大切にしていくこと。」など、生徒にとってこれからの生活に生かしていける内容が多く、とても有意義な会になりました。以下に生徒の発表を紹介いたします。(吉田瀬奈さんの発表は、次号に掲載予定です。)

「わたしたちのふるさと 大和町」

宮床中学校2年 川田あいこ

私が目指したい未来の大和町は、「子育て環境に恵まれ、自然が豊かな町」です。

いま、日本では少子高齢化が進み、15歳以下の人口が減ってきています。しかし、ここ大和町では15歳以下の子どもの人口も、全体の人口も増え続けています。ただし長期的な視点で、現在と10年後の2025年の人口構成の予想を比べてみると、10歳以下の人口が大幅に減り、90歳以上の人口、特に女性が大幅に増えると考えられています。このように、大和町も、将来のことを考えると、今の状況だけで少子高齢化問題に対して安心していただけるわけではないのです。

私は、小さな子どもがいても生活しやすい環境を整えられれば、町内に小さな子どもが増え、この町の少子高齢化対策になるのではないかと思います。身近なところで考えると、安全な遊具がある公園をつくる、多くの歩道にガードレールをつける、児童館などの保育施設で預かる子どもの人数を増やすなどということです。具体的には、グラコの周りの柵やすべり台の上の柵は、もっと目立つように、小さい子どもでもわかるようにするなど、安全に遊べる公園になると思います。

歩道に関しても、小さな子どもが歩道から車道に出てしまったり、小学生が自転車で、スピードを出して走っているなど、とても危ない場面をよく目にします。親や、小さな子どものめんどうを見ている人は、危険だと感じる場所では子どもを遊ばせません。小さな子どもたちが安心して町を歩くことができるよう、ガードレールを設けて歩道をきちんと歩けるよう安全を確保したり、自転車を安全に乗るように呼びかけたりするなど、町みんなが小さい子どものことも考えられるようにしていくと、小さい子どもが外で遊びやすくなるのではないのでしょうか。施設の面で考えると、私の住んでいる地区の近くにあるもみじヶ丘児童館では、小学校3年生までしか預かってもらうことができません。4年生になり親が日中家にいないという小学生は、自分で鍵を持って家に帰るといいうわゆる「鍵っ子」になります。3年生以下でも、児童館の人数制限によって預かってもらえない小学生もいます。人数制限や、年齢制限があると、家に親がいなくても一人で帰らなければなりません。特に小学校1年生は、幼稚園から小学校に上がったばかりで、家の鍵を持たせることに対して、親が不安を感じることが多いと思います。児童館の施設を充実させて、預かることができる人数をもっと多くした方が、子育てしやすい環境になると思います。

こまでは施設や設備について話をしてきましたが、私は施設や設備を充実させることよりも、「子どもを思いやる心」を大和町に住む人全員が持つことが大切だと思います。近所の人との関わりを持ち、小さい子どものことをみんなが考えられれば、子育てしている人はとても安心できると思います。家の近所の人や同じ地区の人などと挨拶を交わったり、会話をしたりすると言うことで、地域でのつれ、災害などがあつたときに、地域みんなが協力できるのも良い点のひとつだと思います。こうやって地域の人が気持ちでつながることができるまちづくり、そして、安心して子どもを育てられる環境がまちづくりにつながっていくのだと思います。

さて、大和町には、七ツ森や水田の広がる風景など、たくさんの自然があります。私の通う宮床中学校では、1年生の校外学習で七ツ森登山が行われました。七ツ森登山では、豊かな自然と直接ふれあう事ができ、とても良い経験になりました。小学校の刺繍サークルでも、登山などに参加することができ、私達は幼い頃から身近なところで自然に触れることができます。とても恵まれた環境にあると思っています。しかし最近では、人口の増加とともに水田や森林、山だった場所が住宅地になっています。政令指定都市の仙台市と隣接していることもあり、急速に都市化が進んでいることも事実である。町が発展していくことも大切ですが、今ある季節を感じることもできる風景を、未来の大和町にも残していきたいです。それは私たちのふるさとだからです。

## 宮中生の活躍



- RST杯秋季ソフトテニス大会 (11/1)
- ・ 女子団体 第2位 女子ソフトテニス部
- ・ 男子団体 第3位 男子ソフトテニス部

- 宮城県造形教育作品展 (11/1)
  - ・ 入選 情野 奉昂 (3年)
- ギョリュウカップ中学生バレーボール大会 (11/8)
  - ・ 第3位 女子バレーボール部
- 東北中学校ゴルフ選手権大会 (11/5)
  - ・ 女子個人 第1位 大須賀 望 (2年)
- 大和町武道大会 (11/8)
  - ・ 柔道男子重量級 第1位 高橋 正樹 (2年)
  - ・ 柔道男子軽量級 第1位 大貫 泰河 (2年)
  - ・ 第2位 後藤 凜太郎 (1年)
  - ・ 第3位 川島 柊吾 (1年)
- 子ども若者育成支援強調月間ポスターコンクール
  - ・ 最優秀賞 小野寺 莉珠 (2年)
  - ・ 優秀賞 松谷 倫果 (2年)
- 黒川郡作曲コンクール (11/13)
  - ・ 優良賞 若生 麗奈 (3年) 肥田 恵実 (1年) 永海 爽羽 (1年)

## 学年PTA行事から

○ 10月28日(水)に1学年PTA行事としてY字スペシャルドッジビーを行いました。当日は、平日にもかかわらず多くの保護者の方にご参加頂きました。ありがとうございました。生徒にとっては、友だち同士だけでなく、日頃接することのない保護者の方々とも和気あいあいと交流を深めることができ大変有意義なひとときを過ごすことができました。



○ 10月29日(木)に楽天イーグルス「未来塾」の佐野有紗氏(東北ゴールデンエンジェルス)を講師に迎え、2学年PTA行事を行いました。夢を持つことの大切さや夢の実現のための方策について、実体験をふまえた内容で、生徒にとっては、将来の夢や目標について考えるきっかけになったようです。また、自分を大切にすることや、自分を支えてくれる仲間感謝することなど、今後の自分の進路を考える上でとても参考になる講話でした。



○ 3学年PTA行事は、10月9日(金)に仙台の伝統工芸である堤人形への絵付け体験を行いました。講師として、松川だるま工房の方にお越しいただき、大きさ約14cmほどの和紙で作られただるまに、彩色をしていきました。基本の絵付けだけでなく、それぞれが工夫を凝らした絵付けをしても良いということで、いろいろな柄のだるまができ、最後には金粉をまといわせて完成しました。参加された保護者の方々も一緒になって楽しいひとときを過ごすことができました。

最後に、各学年のPTA行事を実施するに当たり、事前の企画や準備をしていただいた役員の方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 12月の主な行事

日	曜	行	事
1	火	三者面談	
2	水	救急救命講習会(2年)	
3	木	新入生保護者説明会	
10	木	中学校見学会(6年生来校)	
11	金	授業参観・学年PTA 宮床中学校区家庭教育セミナー	部活動なし
12	土	郡P連会員研修会 成田公民館	

日	曜	行	事
14	月	職員会議	部活動なし
18	金	町標準学力調査(1, 2年)	部活動なし
22	火	第2学期終業式	給食なし・部活動なし
23	水	祝/天皇誕生日	
24	木	冬季休業日(~1/7) ウインタースクール(~25日)	
28	月	仕事納め	